

「新たな価値」を 生み出す力

自ら変革することを恐れず、さらなる成長を目指します

富士フイルムホールディングスは、2014年1月20日に80周年を迎えました。創立以来、オイルショック、シルバーショック、そしてコア事業であった写真フィルム需要のデジタル化による激減、世界同時不況など多くの困難がありました。全社で立ち向かうことで、この変化が激しく厳しい時代を生き抜いてくることができました。

当社は創業後、X線フィルム、印刷用フィルムなど写真以外の多様な事業においても高い技術力を元に高品質な製品を提供し、市場シェアを獲得してきました。その一方で1980年代初頭からのデジタル化の兆しを敏感に感じ取り、時代の先を読んで率先して自社でデジタル技術の開発を進め、世の中に画期的なデジタル製品を提供してきました。X線画像診断のデジタル化を実現した「FCR」や、世界初のフルデジタルカメラ「DS-1P」の開発など、当社の歴史は自らを常に変革させてきた、イノベーションの連続だったと言えます。写真フィルム需要激減に対応した「第二の創業」というべき2004年から現在に至るまでの大規模な事業構造転換も、まさに変革の一例です。

創立80周年に合わせて制定した新しいコーポレートスローガン「Value from Innovation」は、当社グループに備わったその「イノベーターとしてのDNA」をもとに、社会に



優れた価値を与える革新的な技術、製品、サービスを提供し続け、お客様の明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるのだという、皆様へのコミットメントです。さらに自社の技術だけでなく、新設したOpen Innovation Hub*の場などを活用して社内外の知恵や技術を広く集めて融合させ、「新たな価値」を創出することを通じて、環境、人々の健康や生活・働き方などに直結するさまざまな社会課題を解決していくことを経営目標に定めました。

今後も「Value from Innovation」のスローガンのもと、変化を恐れず自らを変革させ、これまで解決することができなかった市場のニーズに対して、新たなソリューションを提供し続けていきます。

当社グループの中長期的な成長にご期待いただくとともに、今後も変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

2014年7月

代表取締役会長・CEO

古森重隆

代表取締役社長・COO

中嶋成博

* 創立80周年を記念して2014年1月20日に開設した施設で、当社グループが創業以来培ってきたコア技術とその応用展開の事例を示し、お客様とのコミュニケーションを深めながら課題解決やアイデアの具体化を進める「共創」の場。